



2026 年 9 月 30 日

株式会社アドバンスト・メディア

既築物件の調査記録から帳票作成までを一気通貫で効率化
大規模修繕向けアプリ「B-Work One® RENOVIS」を 10 月 1 日より提供開始
～図面上への記録・写真撮影・数量集計・帳票出力・進捗管理をデジタル化～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、建設業界向けプラットフォーム「AmiVoice B-Work One（アミボイス ビーワーク ワン）」のオプションとして、大規模修繕の調査記録・帳票作成・進捗管理を支援する iPad アプリ「B-Work One RENOVIS（ビーワーク ワン リノビス）」を、2026 年 10 月 1 日（木）より提供開始します。

The image shows a promotional graphic for the 'B-Work One RENOVIS' app. On the left, a tablet displays the app's interface, which includes a floor plan and a list of items. On the right, a list of features is shown with icons: recording non-compliance on the diagram, managing photos and comments, automating quantity collection, and smoothly outputting Excel reports. A construction worker icon is also present. The top right corner features a blue circle with the text '10月1日 提供開始' (Start of supply on October 1st). The app name 'B-Work One® RENOVIS' is prominently displayed in the center.

国土交通省によると、2025 年末時点で築 40 年以上の分譲マンションは約 158.8 万戸あり、10 年後には約 313.1 万戸、20 年後には約 503.6 万戸へ増加する見込みです^{※1}。また、同省の「マンション大規模修繕工事に関する実態調査」では、大規模修繕を実施したマンションの約 7 割が 12～15 年周期で修繕を行っており、13 年周期が最も高い割合を占めています^{※2}。分譲マンションをはじめとする既築物件の高経年化が進む中、建物の安全性や快適性、資産価値を維持するため、状態を定期的に把握し、計画的に修繕する重要性は一層高まっています。

一方、大規模修繕に向けた現地調査では、紙の図面や帳票への手書き記録、事務所での清書・転記、数量の手集計、写真と指摘箇所の照合作業など、作業負担の増大が課題となっています。また、1 つの現場で多数の不具合を扱うため、記録漏れや重複、転記ミスを防ぎながら、見積りや報告の根拠となる情報を正確に整理することも求められています。

こうした課題を受け、アドバンスト・メディアは、iPad 上の図面に不具合の位置・種別・数量・写真・コメントをまとめて記録し、工種別の数量集計から帳票作成、進捗管理までを支援する「B-Work One RENOVIS」を開発しました。現場で入力したデータを集約することで、調査記録の正確性と業務効率の向上、記録様式の標準化を支援します。

【「B-Work One RENOVIS」特長】

1. 図面上に不具合を簡単にプロットし、数量集計・進捗管理まで効率化

PC の管理画面から登録した図面を iPad で開き、工種や凡例を選択して図面上の該当箇所をタップすることで、不具合の位置と数量を記録できます。工種・凡例は現場や運用に合わせて設定でき、図面上に配置した凡例の数量を集計することが可能です。また、各不具合記録には完了/未完了のステータスを付与できるため、修繕対応の進捗・完了状況の可視化を支援します。

位置・数量・対応状況を紐づけて管理することで、調査結果の記録（図落とし）から見積に必要な集計作業、進捗確認までを一気通貫で効率化します。



2. ステータスやコメント・写真の有無で必要な情報を絞り込み表示

iPad アプリにおいて、ステータス、コメントあり、写真ありなどの条件で各不具合記録を絞り込み表示することが可能です。写真を確認したい、特記事項（コメント）を確認したい、未完了の不具合だけを確認したいなどの用途に応じて必要な情報を素早く表示でき、現場の不具合情報をスムーズに把握・共有できます。

3. AI 音声認識 AmiVoice で、写真や指摘箇所へのコメント入力を効率化

図面上に登録した指摘箇所や撮影した写真に対し、AI 音声認識 AmiVoice を用いてコメントを入力できます。建設業界に特化した音声認識エンジンを搭載しているため、現場で使われる専門用語も認識しやすく、フリック入力などの操作を減らしながら確認内容をその場で記録することが可能です。写真に付与したコメントや「是正前」「是正後」などの写真種別は、図面上の位置情報と紐づけて管理できます。

4. 調査結果を Excel 形式の 3 種類の帳票として出力

調査結果は、PC の管理画面から Excel 形式でユーザー自身が出力できます。出力可能な帳票は、図面と工種別の凡例・数量をまとめた「不具合プロット図」、箇所ごとの記録を一覧化した「コメントシート」、写真と関連情報を整理した「写真台帳」の 3 種類です。また「写真台帳」は、運用に合わせて不具合プロット・コメント・写真の表示形式を 3 パターンから選択できます。現場で記録した情報を、見積作成や発注者への報告、工事後の実績精算に活用することが可能です。

帳票の種類	形式	出力内容
不具合プロット図	Excel シート 1 枚	図面上の不具合位置と、工種別の凡例・数量をまとめて出力
コメントシート	Excel シート 1 枚	箇所ごとの記録やコメントを一覧化して出力
写真台帳	Excel シート 3 枚つづり（1 パターン） / 6 枚つづり（2 パターン）から選択可能	写真と、不具合箇所・コメントなどの関連情報を整理して出力

5. オフライン環境と複数人での同時調査に対応

通信環境が整備されていない現場でも利用できるオフライン運用に対応しています。また、複数人で同じ現場を分担して調査することができ、調査データはクラウドへ同期して管理することが可能です。

6. 「AmiVoice B-Work One」と連携し、現場情報を一元管理

「B-Work One RENOVIS」は、「AmiVoice B-Work One」の契約ユーザー向けオプションアプリです。「AmiVoice B-Work One」のチャット、スケジュール、ファイル共有などの既存機能と併せて利用することで、大規模修繕の調査記録だけでなく、現場の情報共有や予定管理も 1 つのプラットフォーム上で行えます。

【価格】

「B-Work One RENOVIS」利用料：1 ライセンス 月額 10,780 円（税込）

※ 別途、「AmiVoice B-Work One」のご契約が必要です。

「AmiVoice B-Work One」基本利用料（1TB）：13,200 円（税込）、1ID：月額 1,100 円（税込）

アドバンスト・メディアは、今後も「AmiVoice B-Work One」を通じて、建設現場に蓄積される情報の集約・共有、コミュニケーションの円滑化、業務効率化を支援してまいります。また、AI 音声認識 AmiVoice と生成 AI を連携し、現場の情報をより高度に活用できる建設業界向けプラットフォームとして進化させることで、当社のビジョンである、人が AI 技術により能力を高める「AISH（AI Super Humanizing）」の実現を推進してまいります。

■ 「AmiVoice B-Work One」について

国内シェア No.1^{※3} の AI 音声認識 AmiVoice と生成 AI を活用し、建設現場のコミュニケーションを支援するプラットフォームです。建設現場におけるさまざまな情報を集約し、ユーザーが必要とする情報

に素早くアクセスできる環境を AI アシスタントが提供することで、情報共有・意思決定の迅速化と業務効率化を同時に実現します。

<https://www.advanced-media.co.jp/products/service/amivoice-b-work-one/>

- ※1 国土交通省「築 40 年以上のマンションストック数の推移」(2025 年末時点)
<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/content/001903887.pdf>
- ※2 国土交通省「令和 3 年度マンション大規模修繕工事に関する実態調査について (概要)」
<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/content/001477900.pdf>
- ※3 出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2026」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場 (2025 年度見込)
- ※4 本ページに掲載されている商品・サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標です。

以上

【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

- 代 表 者** : 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸
- 本 社** : 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F
- U R L** : <https://www.advanced-media.co.jp/>
- 設 立** : 1997 年 12 月
- 資 本 金** : 69 億 3031 万円 (18,392,724 株) (2026 年 6 月末現在)
- 事 業 内 容** :
◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997 年に設立。Interactive Systems, Inc. (米国) と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005 年には、音声認識専業の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場 (現：グロース市場) に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI (Human Communication Integration) の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1 (出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2026」 (2025 年度見込)) の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コンタクトセンター、建設・不動産、製造・物流などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

【本件のお問い合わせ】

報道関係
経営推進本部 広報グループ ・ TEL : 03-5958-1307